



Signpost

# Social Action PROJECT

“知る”から“体験する”へ。広げよう、思いやりの心。

2019.4.14(Sun.) 第7節

VS ベガルタ仙台 **HOME**

## フロアホッケー

Action  
04

### サッカーを彷彿とさせるゲーム性。 シンプルだからこそ、熱くなれる。

“ゴール！”の音が響き渡る昭和電工ドームのソーシャルアクションブース。フロアホッケーは年齢や性別、障がいのある方、ない方、それぞれの体力や技能レベルに応じて、楽しめるユニバーサルスポーツです。スティックを使い、フェルト製のパックを奪い合い、相手ゴールにシュートを決めた時の爽快感は格別。ポディーターンやフェイントで相手を翻弄するゲーム性は、サッカーを彷彿とさせ、参加者を熱くさせます。正式な試合ではキーパーも含めて6人で対戦するフロアホッケーですが、当日は1対1の親子対決や2対2の友だち対決など、人数に応じてさ

まざまなゲームが繰り広げられていました。

14時半すぎ、ブースに後藤選手と庄司選手が現れると、次々にサポーターが集まってきました。恒例の大分トリニータチームとの対戦では、子どもたちは人気選手とのふれあいに大はしゃぎ。両選手にフロアホッケーの感想を尋ねると、“シンプルだけど面白い”と後藤選手、庄司選手は“サッカーに似ていますね”と笑顔で答えてくれました。

**Special Thanks!** 今回の活動にご協力いただいた皆様  
大分県フロアホッケー連盟の皆さん  
大分大学 アダプテッドスポーツクラブの皆さん  
(障がい者スポーツ支援ボランティア団体)

### What is it about ?



ゴールキーパーを含めた6名のプレイヤーが直径20cmの穴の空いたパックをスティックで操り、相手ゴールに入れた点数で競います。年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、誰にでも楽しめるスポーツで、スペシャルオリンピックスの公式競技となっています。

### Impressions

大分市 ご家族



最初は難しかったスティックさばきも、すぐにコツがつかめて楽しかったです。家族みんなので、つついエキサイトしていました。良い汗を流しました！

### Impressions

佐伯市 / 臼杵市 男性 会社員



熱くなってしまい激しく動き回ったので、思っていた以上に疲れました。1対1の勝負も楽しかったけど、チームでプレーすれば、もっと楽しめようなあ～！

私たち大分FCは「Social Action Project」を通じて、障がいのある人も、ない人も、お互いを理解し合い、尊重し合うことで、すべての人にやさしいユニバーサル社会の実現に貢献しています。このプロジェクトは2018年3月より、大分トリニータの全ホームゲーム(20試合)で開催。2019年シーズンより、サインポスト(株)様のご協力を頂いております。

# Action Snapshot

**Social Action**  
PROJECT

“知る”から“体験する”へ。広げよう、思いやりの心。

2019.4.14(Sun.) 第7節  
VS ベガルタ仙台 **HOME**  
フロアホッケー

Action  
**04**



♥ 後藤選手・庄司選手の登場に、みんな大喜び！



♥ 鮮やかにゴールを奪われ、唖然とする後藤選手。



♥ Jリーガーとの対戦に、子どもたちも大興奮！



♥ 鉄壁の守備。頼れるディフェンダー庄司選手。



♥ みんな、つつい興奮してしまいます。



♥ スーパーゴールを決めて、親子でハイタッチ！



♥ 自分より大きなスティックを上手に操ります。



♥ コートサイドを華麗に駆け上がります。



♥ 接触プレーに備え、正式には防具を着用します。

私たちは「Social Action Project」を応援しています。



**Signpost**

**サインポスト株式会社**